

東労基発 0209 第 2 号
平成 30 年 2 月 9 日

各 位

東京労働局労働基準部長
(公 印 省 略)

平成 30 年の職場における熱中症予防対策の徹底について (お願い)

日頃、労働基準行政とりわけ労働者の健康確保対策の推進にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、東京労働局管内における平成 29 年の職場での熱中症による休業 4 日以上の死傷者数は 46 人 (平成 30 年 1 月 26 日現在の速報値) となり、前年比 17 人増となりました。

東京労働局では、特に、熱中症が多発している分野である建設業、建設現場での警備業務等の屋外型業種を中心として、早い時期から熱中症予防対策を講じていただくよう周知・指導を行っていますが、毎年、屋内作業での熱中症による労働災害も発生していることから、屋外・屋内を問わず、熱中症予防対策を行うことが重要となります。

この度、平成 30 年用の熱中症予防リーフレットとポスターを作成しましたので、熱中症予防リーフレット等を活用し、職場での熱中症予防対策に一層の取り組んでいただくとともに、会員事業場等への周知等について特段のご協力をいただくようお願い申し上げます。

なお、リーフレット等は、2 月 20 日頃に印刷業者から配送いたしますので、申し添えます。

東京労働局管内の職場における熱中症による死傷災害の発生状況

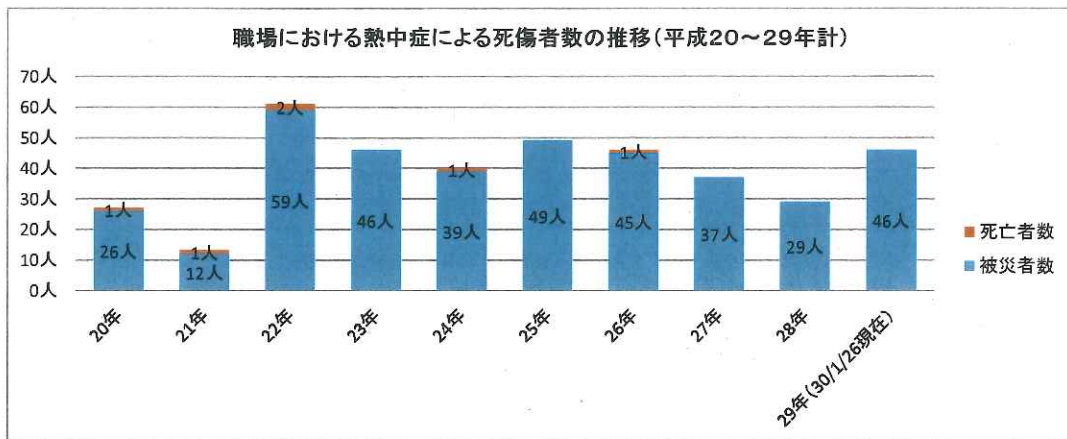
平成30年2月9日
東京労働局労働基準部健康課

1 職場における熱中症による死傷者数の推移(平成20～29年)

過去10年(平成20～29年)の職場での熱中症による死亡者数及び4日以上休業した業務上疾病者の数(以下、合わせて「死傷者数」という。)をみると、平成22年に61人と最多であり、その後も20～40人台で推移しています。平成29年の死傷者数(平成30年1月26日現在、以下同じ)は46人と前年に比べ17人増加しました。

	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年 (30/1/26 現在)
被災者数	26人	12人	59人	46人	39人	49人	45人	37人	29人	46人
死亡者数	1人	1人	2人		1人		1人			
計	27人	13人	61人	46人	40人	49人	46人	37人	29人	46人

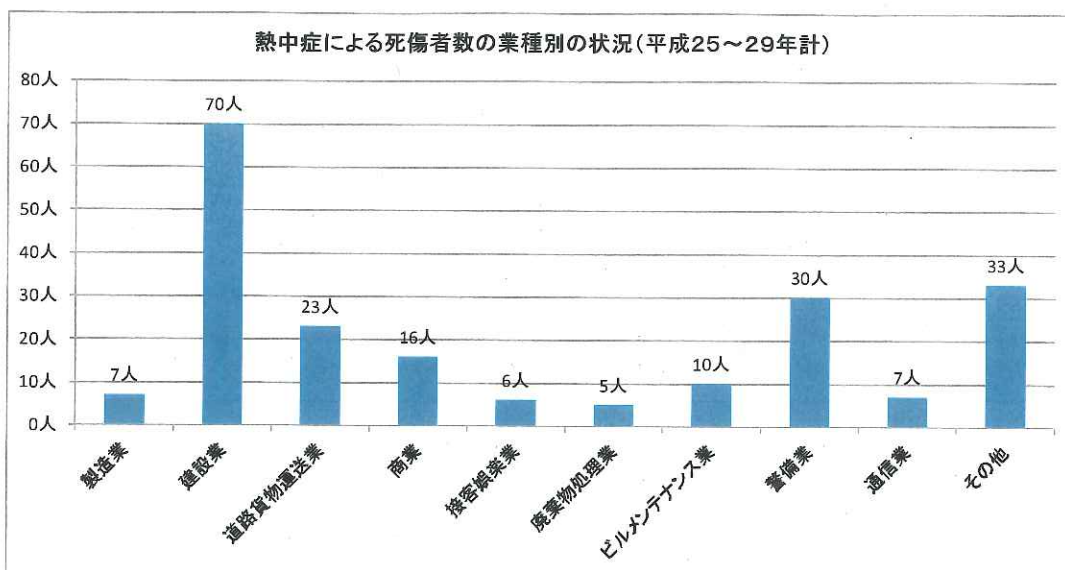
(死亡者数は外数)



2 業種別発生状況(平成25～29年)

過去5年間(平成25～29年)の業種別の熱中症による死傷者数をみると、建設業が最も多く、次いで警備業、道路貨物運送業で多く発生しており、全体の約6割を占めています。

	製造業	建設業	道路貨物運送業	商業	接客娯楽業	廃棄物処理業	ビルメンテナンス業	警備業	通信業	その他	計
平成25年	1人	26人	4人	1人	2人	2人	3人	6人	2人	2人	49人
平成26年		23人	3人	3人			2人	7人	2人	6人	46人
平成27年	2人	5人	3人	6人	2人	2人	1人	6人	2人	8人	37人
平成28年	2人	5人	4人	4人	1人		2人	4人	1人	6人	29人
平成29年 (30/1/26現在)	2人	11人	9人	2人	1人	1人	2人	7人		11人	46人
計	7人	70人	23人	16人	6人	5人	10人	30人	7人	33人	207人

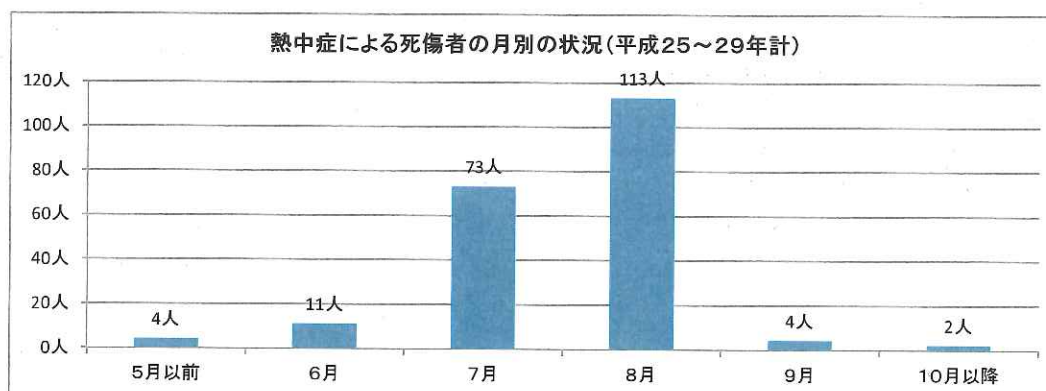


3 月・時間帯別発生状況

(1) 月別発生状況(平成 25～29年)

過去5年間(平成25～29年)の月別の熱中症による死傷者数をみると、全体の約9割が7月および8月に発生しています。

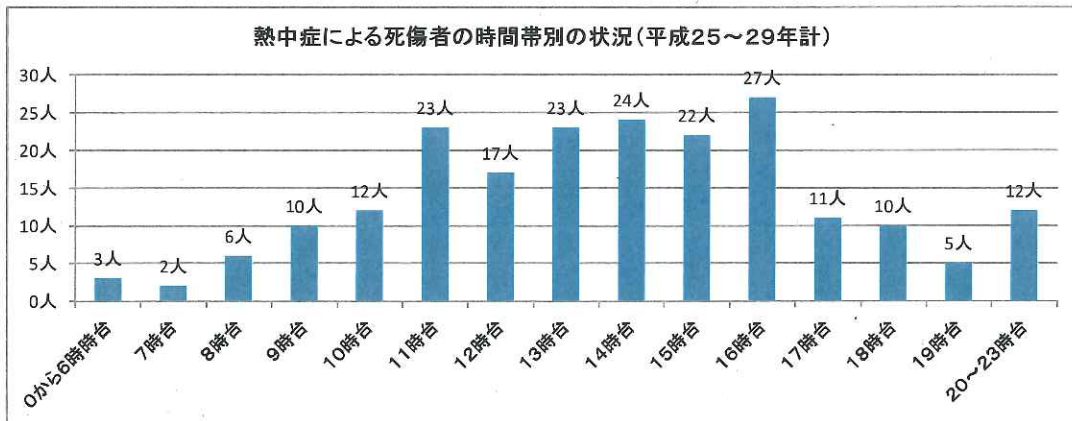
	5月以前	6月	7月	8月	9月	10月以降	計
25年		1人	19人	28人		1人	49人
26年		1人	12人	32人	1人		46人
27年	1人	3人	13人	19人		1人	37人
28年	2人	2人	7人	18人			29人
29年(30/1/26現在)	1人	4人	22人	16人	3人		46人
計	4人	11人	73人	113人	4人	2人	207人



(2) 時間帯別発生状況(平成25～29年)

過去5年間(平成25～29年)の時間帯別の熱中症による死傷者数をみると、11～16時台に多く発生しています。なお、日中の作業終了後に帰宅してから体調が悪化して病院へ搬送されるケースも散見されます。

	25年	26年	27年	28年	29年 (30/1/26 現在)	計
0から6時 時台	1人		2人			3人
7時台	1人		1人			2人
8時台			1人	2人	3人	6人
9時台	2人	2人	1人	2人	3人	10人
10時台	5人	2人	1人	3人	1人	12人
11時台	6人	9人	3人	1人	4人	23人
12時台	3人	8人	3人	1人	2人	17人
13時台	4人	1人	6人	3人	9人	23人
14時台	7人	4人	5人	5人	3人	24人
15時台	7人	6人	1人	3人	5人	22人
16時台	5人	7人	7人	2人	6人	27人
17時台	1人	3人	1人	3人	3人	11人
18時台	3人	1人	2人	1人	3人	10人
19時台		2人	1人	1人	1人	5人
20～23 時台	4人	1人	2人	2人	3人	12人
計	49人	46人	37人	29人	46人	207人



4 年齢別発生状況

過去5年間(平成25～29年)の年齢別の熱中症による死傷者数をみると、50歳代が最も多く発生しています。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	計
25年		4人	10人	11人	8人	14人	2人	49人
26年		4人	5人	15人	13人	5人	4人	46人
27年		9人	9人	1人	9人	8人	1人	37人
28年	2人	5人	4人	5人	5人	7人	1人	29人
29年(30 /1/26現在)		6人	7人	12人	14人	4人	3人	46人
計	2人	28人	35人	44人	49人	38人	11人	207人

